INA-F0146f

取扱説明書

機械ラッチ形
電磁接触器
形式

SC-03 [＊1]/V[＊2]
SC-0 [＊1]/V[＊2]
SC-05 [＊1]/V[＊2]
SC-4-0 [＊1]/V[＊2]
SC-4-1 [＊1]/V[＊2]
SC-5-1 [＊1]/V[＊2][＊4]
SC-N1 [＊1]/VS[＊4]
SC-N2 [＊1]/VS[＊4]
SC-N2S [＊1]/VS[＊4]
SC-N3 [＊1]/VS[＊4]

補助継電器
形式

SH-4 [＊3]/V[＊2][＊5]
SH-5 [＊3]/V[＊2]

一種耐熱形
電磁接触器
形式

SC-N1 [＊3]/V[＊2](H)
SC-N3 [＊3]/V[＊2](H)

の取扱説明書は，最終
用保守責任者のお手元
届くよう十分ご配慮く
さい。

記形式の [＊] 部には次の記号の付属形式が付く場合があります。仕様などの詳細
カタログを参照ください。

[＊1]：RM, H [＊2]：G [＊3]：H [＊4]：(H2) [＊5]：(H), (H2)

安全上のご注意

取付け，運転，保守・点検の前に，必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し，正しくご使用ください。機器の知識，安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では，安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告：回避しないと，死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示す。

⚠注意：回避しないと，軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害が発生するおそれがある場合を示す。

なお，**⚠注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠警告

- 通電中は製品に触れたり近づいたりしないでください。感電，火傷のおそれがあります。
- 保守・点検は電源を切って行ってください。感電のおそれがあります。

⚠注意

- 取付けは，取扱説明書に規定されたスペース以上を確保して行ってください。火傷，火災のおそれがあります。
- 配線は，印加電圧・通電電流に適した電線サイズを使用し，取扱説明書に規定された締付トルクで締付けてください。火災のおそれがあります。
- 電源を切った直後の製品には触らないでください。熱くなっていますので火傷のおそれがあります。
- 製品を廃棄する場合は，産業廃棄物として取扱ってください。

1. 荷ほどき

(1) 形式，コイル電圧および接点構成がご要求の仕様と一致しているか確認してください。
(2) 輸送中の事故などによる部品の脱落や破損がないか点検してください。

2. 保管

高温多湿，腐食性ガスおよび直射日光を受ける場所を避け，梱包状態で保管してください。

3. 取付け

(1) 湿気，じんあい，振動の少ない所に設置してください。
(2) 垂直面に取付けてください。許容傾斜角度は30°以内です。(図1)
(3) レール取付けはIEC60715の35mm幅支持レールに取付けできます。
なお，一種耐熱形はレール取付けでの使用はできません。支持レールは，弊社形式TH35-15ALをお薦めします。レールのパネル取付方法は（図2），取付け・取外しは（図3）です。

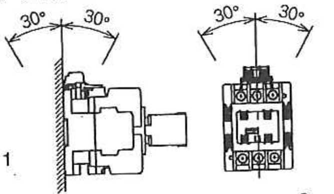


図1

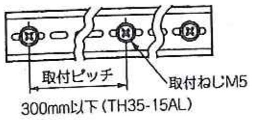


図2

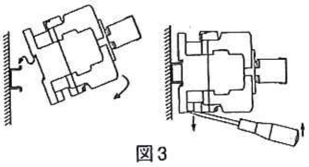


図3

4. 取付スペース

(1) 取付けは右表の寸法以上離してください。(図4)
(2) C寸法はIEC規格およびJIS規格の開路，遮断容量試験条件下の値です。

A寸法	5mm
B寸法	10mm
C寸法	0mm

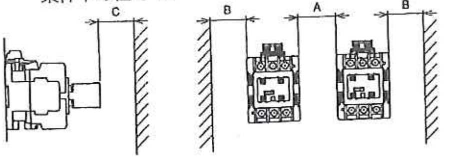


図4

5. 配線

	形式	端子ねじ サイズ	端子ねじ ねじ形状	接続可能電線サイズ[注5] 電線直配線	接続可能電線サイズ[注5] 丸形圧着端子接続	適合丸形圧着端子(JIS C2805またはJIS準拠市販品) 端子最大幅	適合丸形圧着端子(JIS C2805またはJIS準拠市販品) 丸形圧着端子	締付けトルク N・m
主回路	SC-03.0,05 / V,VG	M3.5	角座金付十字穴付なべ小ねじ	1.25～2mm² ϕ1.2～2 AWG 16～14	1.25～2mm² AWG 16～14	7.7	R1.25-3.5 ～ R2-3.5	0.8～1.0
主回路	SC-4-0,4-1, 5-1/ V,VG	M4	角座金付十字穴付なべ小ねじ	1.25～5.5 mm² ϕ1.2～2.6 AWG 16～10	1.25～5.5mm² AWG 16～10	9.7	R1.25-4 ～ R5.5-4	1.2～1.5
主回路	SC-N1/VS N2/VS	M5	角座金付十字穴付なべ小ねじ	2～14mm² ϕ2～3.2 AWG 14～6 [注6]	2～22mm² AWG 14～6	12.4	R2-5 ～ R22-5 [注3]	2.0～2.5
主回路	SC-N2S/VS N3/VS	M6	プラスマイナス穴付なべ小ねじ	—	2～38mm² AWG14～2	16.8	R2-6 ～ R38-6 [注3]	4.0～5.0
制御回路	SC-N1/VS ～N3/VS SH-4,5/V,VG	M3.5	角座金付十字穴付なべ小ねじ	1.25～2mm² ϕ1.2～2 AWG 16～14	1.25～2mm² AWG 16～14	7.7	R1.25-3.5 ～ R2-3.5	0.8～1.0

[注1] N1，N2形主回路端子およびN1～N3形の制御回路端子は，単線，より線，圧着端子のいずれの配線も可能です。
[注2] N2S，N3形の主回路端子は圧着端子専用です。
[注3] 端子最大幅以下の圧着端子をご使用ください。(圧着端子メーカの幅狭品を使用してください。)
[注4] JISおよびJIS準拠品以外の圧着端子を使用する場合は，端子および圧着工具は市販品より選定してご使用ください。
[注5] 各端子とも電線または圧着端子を2個接続できます。(注6を除く)
圧着端子を2個接続する場合は図5のように取付けてください。
[注6] 14mm²の電線は1本のみ接続可能です。この場合は導体をねじの両側に分けて接続してください。

図5

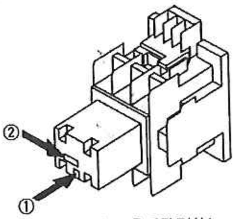
6. 操作

6.1 電気的

(1) 投入指令および引外し（釈放）指令は0.3秒以上あたえてください。
(2) 投入コイル，および引外しコイルは短時間定格（15秒）です。投入コイルとコイル消磁接点（端子55－56），03～5-1形の引外しコイルとコイル消磁接点（端子13－14）を直列に接続してありますので，接続線を外さないでください。N1～N3形の引外しコイルは内蔵接点により自己消磁されます。

6.2 シーケンスチェック

手動投入，手動引外しは図6の方法で行ってください。
手動操作は，シーケンスチェックの場合のみ行い，実負荷回路（負荷が接続された状態）では，絶対に行わないでください。



①手動投入 ②手動引外し
図6

7. 保守・点検

7.1 運転前の点検

(1) ねじのゆるみがないことを確認してください。
(2) 電線くず，ワッシャなどが製品にはさまっていないか，確認してください。
(3) 制御回路電圧は，コイル電圧の許容変動範囲内にあることを確認してください。
(4) AC操作の場合，制御電源が，ひずみ，陥没などのない50/60Hzの正弦波であることを確認してください。
(5) 可逆形を使用する場合は，必ず電気的インターロックを付けてください。
(6) 通電する前に，ラッチが釈放状態であることを確認してください。
投入している場合は，引外し操作を行ってください。

7.2 運転後は早めに初期点検し，その後は定期的に点検してください。

富士電機機器制御株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町5番7号
（三井住友銀行人形町ビル）

TEL (03) 5847 - 8060
FAX (03) 5847 - 8182
URL http://www.fujielectric.co.jp/fcs/

(09-10-2,000)h A4-3